

## 2022 年度日本気象学会秋季大会専門分科会テーマ

「日本気象学会における学術出版の未来」

### The Future of Academic Publishing of the Meteorological Society of Japan

日本気象学会秋季大会

<https://www.metsoc.jp/meetings/2022a>

会期：2022 年 10 月 24 日（月）～27 日（木）

会場：北海道大学国際会議場

開催日時・会場：2022 年 10 月 25 日（火）9:00-11:30・学会 C 会場

#### 趣旨説明

日本気象学会では国際査読ジャーナルとして気象集誌 (Journal of the Meteorological Society of Japan) と SOLA を出版している。気象集誌は、英文の査読付きオリジナル論文及びレビュー論文のみを掲載する隔月刊の電子ジャーナル論文誌であり、SOLA は、速報性を重視した短報 (レター) を Web 上 (電子版) のみで公開する英文の査読付き電子ジャーナル論文誌である。気象集誌は、今年、第 2 輯として第 100 号を刊行する記念する年となる。本分科会では、国際学術雑誌を巡る最近の状況を踏まえ、日本気象学会におけるジャーナルの今後の在り方を議論したい。学術雑誌に関する知見、提言、出版論文に関する統計的解析等の発表を期待する。

#### 世話人氏名・所属

佐藤正樹 (東京大学大気海洋研究所)、竹見哲也 (京都大学防災研究所)、堀之内武 (北海道大学地球環境科学研究所)

#### 発表プログラム：

- 佐藤正樹 (東京大学・前気象集誌編集委員長)・堀之内武 (北海道大学・気象集誌編集委員長)：  
「気象集誌」の最近の取り組みと今後
- 竹見哲也 (京都大学・SOLA 編集委員長)：  
SOLA のこれまでの歩みとこれから
- Dugald McGlashan (INLEXIO)：  
The growing importance of technology in journals publishing
- 中島律子 (科学技術振興機構(JST) 情報基盤事業部部長)：

## J-STAGE に関する現状および今後

- 河宮未知生 (JAMSTEC・Progress in Earth and Planetary Science 大気水圏科学編集委員長) :  
Progress in Earth and Planetary Science 誌を巡る最近の状況
- 米山邦夫 (JAMSTEC・YMC 国際横断特集号・気象集誌 SOLA 共同特集号編集委員長) :  
7 学会 21 誌横断型特集号の試み
- 竹村俊彦 (九州大学・Scientific Reports, Editor; Atmospheric Chemistry and Physics, Editor) :  
大気科学関連の国際学術誌の近年の動向
- 河谷芳雄 (JAMSTEC・Journal of the Atmospheric Sciences, Editor) :  
Journal of the Atmospheric Sciences Editor に関わる最近の動向
- 重尚一 (京都大学・気象集誌 GPM 特集号編集委員長) :  
TRMM 特別号から GPM 特集号へ
- 山中大学 (総合地球環境学研究所・気象集誌編集委員・運営委員) :  
近年の気象学・大気科学論文誌多様化の統計的考察



専門分科会「日本気象学会における学術出版の未来」のセッション。2022年10月26日北海道大学C会場にて。